



新型コロナ・シリーズ発売

コロナ（一二〇〇cc）、営業専用車も登場

トヨタ自動車販売㈱は五日、新型トヨペット・コロナ及び商用車などコロナ・シリーズ十車種を発表、十二日から全国一斉に発売する。

新型コロナは、高速道路の整備充実、海外市場への進出など、新しい時代の要請と内外の需要家の期待に応えるため、トヨタ自動車が自信をもつて世に送る、画期的な五人乗り乗用車である。

新型コロナには乗用車として「デラックス」・「スタンダード」およびこのクラス初のフル・オートマチック機構を装備したトヨタグライド付同型車があり、とくにデラックスにはオプションとしてバケット・シート（リクライニング）つきがある。また新車種として一二〇〇ccエンジンを搭載した経済車「コロナ（一二〇〇cc）」及び業界初の営業用専用車として「コロナ営業用」も発売される。

なお「コロナ営業用」にはメーカー仕様により、新しいLPG装置を備えた「コロナ営業用LPGつき」もある。さらに商用車としては、「コロナ・バン」「コロナ・ダブルビック」「コロナ・シングルビック」が乗用車のムードをもつた商用車として同時に発売される。

なお、従来国内ではセダンを「コロナ」、商用車を「コロナライン」と呼び、海外では「ティアラ」と、それぞれ別の名で呼んでいたものを新型発売を機会に、「コロナ」の名称に統一した。

一、新型コロナの特長点

(1) 国際感覚のざん新なスタイル……………

旧型にくらべ、さらに低く、長くなり、とくに余裕ある室内スペースを追求して車幅を思いきつて広げたので、長さ、高さ、幅が従来の国産車にみられない理想的なプロポーションをもつスタイルとなつた。また高速時の空気力学を追求した結果、いちだんと空気抵抗が少なくなっている。デザイン上の特長をなすものとして、ボデー側面を一直線に流れる「アローライン」は運動感に満ち、「クリーン・カット」と呼ばれるフロント・グリルのシャープな切れ味とともに、新型コロナの高速性能を象徴する個性的スタイルである。

(2) ハイウェイ時代の本格的な高速性能……………

エンジンの改良により、最高出力を七〇馬力（旧型六二馬力）にアップするとともに、車両重量を大幅に軽減（デラックスで一〇〇〇kgを九四五kgに）したため馬力当り重量は一三・五kg/PSと国産水準を上回った。このため最高速度は一二〇km/h、加速性能も同様に向上し、〇～一〇〇km/hが十秒以内で達成される。

ベンディックス型デュオサーボ方式を採用したブレーキ（オートアジャスター付）、騒音・振動の少ない室内は、長時間高速走行における安全性とともに、ハイウェイ時代の快適な走行を約束するものである。ガソリン・タンク容量はこのクラス最大の四五ℓとした。

(8)

国際水準のラージ・サイズ 五人乗り最大の室内……

新型コローナは車両寸法を全長七〇ミリ、全幅六〇ミリ拡大し、国産の五人乗りセダンとしては外観で最も大きく、室内で最もゆとりのある乗用車となった。またホイールベースで二〇ミリ、トレッドで四〇ミリとさらに延長したので、大型車なみの快適な居住性と乗心地をそなえ得た。反面、車高はスタンダードで三五ミリ、デラックスで二五ミリ低くなり、重心位置の低下とともに高速時における走行安定性をいちだんと向上させた。

(4)

このほか……

機能的にまとめられた計器板、トリップ・メーターやセカンダリー・ベンチレーターの新設、小型軽量化したデズ、合理的な新サスペンション、四灯式ヘッド・ランプの採用、リヤ・コンビネーション・ランプの大型化などほとんど全面的に刷新され、宇宙時代にマッチした新鮮なボデー塗色コスミック・カラーとともに、新しい時代を代表する理想的なフアミリー・カーとして登場する。

ニ

新型コローナ商用車の特長点

商用車としての「コローナ・バン」「コローナ・シングルピック」「コローナ・ダブルピック」の三車種は、乗用車同様、全く新しい立場で創造されたものである。特に居住スペースと積荷スペースの共存性を重視し、従来にくらべて長く低く幅広く、一層バランスのとれたものとなっている。

基本的なスタイル・機構は乗用車と全く変わらず、商用車として必然的に異つてくる部分のみが違っている。エンジンは従来通りの2P型（一二〇〇cc）を改造してあるが、車両重量の軽減、諸機構の改良などにより、性能は飛躍的に向上している。

(1)

長く、広く、低い国際感覚のスタイル
ホイールベース、トレッドの増大により、全長はピックで九〇ミリ、バンで一五ミリ大きくなり、全幅はいづれも六〇ミリ拡大された。積載スペースはいずれもこのクラスで最大である。

(2)

機能的なバン

コローナ・バンのリヤ・ドアは一枚はねあげ式で、軽く操作でき、荷物の積み下ろしが容易であり、防水防じんが完備である。ヒンジの方法を特殊な構造としたため、ルーフの上までドアがはねあがり、雨大でも荷物を濡らすことがない。また、室内奥まで手がのびるので荷物の積み下ろしに便利である。

ある、など数々の特色をもっている。

また、運転席の背もたれは、二段に調節できる簡易リクライニング式で、
 体格にあわせて楽な運転姿勢がとれる。リヤ・シートのレッグルームは乗用
 車と同じスペースをもち、充分ゆとりができた。

△ 新型コロナ・シリーズの価格はつきの通り

(各地販売店々頭渡し、スペヤ・タイヤ、標準工具つき)

(単位 千円)

	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡
コ ロ ナ	五六四	五五九	五六三	六〇六	五八五
コロナ・デラックス	六四四	六三九	六四三	六八六	六六五
コロナトヨグライド付	コ ロ ナ (コ ロ ナ デ ラ ッ ク ス) の 五 万 五 千 円 高				
コロナ・デラックス トヨグライド付					
コロナ(一二〇〇cc)					
コロナ営業用	五四〇	五三五	五三九	五八二	五六一
同 L P G 付	五六四	五五九	五六三	六〇六	五八五
コロナ・シングルピック	コ ロ ナ 営 業 用 の 四 万 円 高				
コロナ・ダブルピック					
コロナ・バン					

なお、コロナ・デラックスのバケット・シート(リクライニング)つきは二万円高。

新型コロナは、今秋月産一万台を目標にし、うち輸出二千台を見込んでおり、
 商用車四千台とあわせ、コロナ・シリーズ一万四千台を生産する予定。(因みに
 本年七月の生産はコロナ・シリーズで約九千台)



新 型 コ ロ ナ 諸 元 表

() 内はスタンダード

寸 法			電気装置		
全 長 mm	4110		バッテリー V-AH	12-35~40	
全 巾 "	(4065) 1,550		ゼネレーター V-W	12-360	
全 高 "	1,420		スタータ V-PS	12-360	
ホイール・ベース "	2,420				
トレッド(前) "	1,270		走行伝導装置		
" (後) "	1,270		ク ラ ッ チ	乾燥単板式	
最低地上高 "	180		トランスミッション	前進3段後進1段	
客室内長さ "	1,730			オールシンクロメツシュ	
" 巾 "	1,310				
" 高さ "	1,135		操作方式	リ モ ー ト コントロール	
重 量			変 速 比 1 速	3.337	
車 輛 重 量 Kg	945 (920)		" 2 速	1.653	
乗 車 定 員 名	5		" 3 速	1.000	
			" 後 退	4.449	
車 輛 総 重 量 Kg	1,220 (1,195)		速減機歯車型式	ハイポイドギヤ	
			" 減速比	4.111	
性 能			操向装置		
最 高 速 度 Km/h	140		ステアリング形式	ウォーム及びセ	
登 坂 能 力 sin θ	0.371 (0.379)		" 歯車比	クター 20 ラー	
最 小 回 転 半 径 m	4.95				
エンジン			走行装置		
型 式	2R		フロント・アクスル	ウイツシユボーン	
種 類	4サイクル		リヤ・アクスル	ボールジョイント	
シリンダー数及び配列	水冷ガソリン			半浮動	
内 径 × 行 程 mm	4 気筒直列頭上弁				
総 排 気 量	78×78		制動装置		
圧 縮 比	1,490		ブ レ ー キ 型 式	油圧内部拡張	
最 高 出 力 PS/r.p.m.	8.0		" (前)	デュオ・サーボ	
最大トルク Kg.m/r.p.m.	70/5,000		" (後)	デュオ・サーボ	
	11.5/2,600		駐車ブレーキ型式	機械式後輪制動	
燃料装置			懸架装置		
キ ャ プ レ タ ー	ツーバレル		前 輪 懸 架 方 式	独立懸架コイル	
エ ヤ ・ ク リ ー ナ ー	濾 紙		後 輪 "	バネ	
燃 料 ポ ン プ	ダイヤフラム		ショック・アブソーバー	半楕円非対称板	
燃料タンク容量 l	45		スタビライザー	バネ	
			フレーム形式	油圧複動筒型	
			タ イ ヤ (前)	トーションバー	
			" (後)	ユニフレーム	
				560-13-4 F	
				560-13-4 F	